

標準施工要領書

ハイモルマックス

#10

JIS A 6916 建築用下地調整塗材

セメント系下地調整塗材 1 種

下地調整塗材 C-1 認証製品

株式会社レゾナック建材

営業部

〒221-8517

神奈川県横浜市神奈川区恵比須町 8 番地

TEL 045(444)1691 FAX 045(444)1699

1. 用途

下地調整塗材

(1) 適用部位 内・外壁、内・外床、天井等

(2) 適用下地 コンクリート、モルタル、PC 板、ALC パネル

※ALC パネル下地の場合は、モルタルの総塗厚を 6mm 以下としてください

(3) 適用仕上 クロス、水性塗料、エマルジョン系仕上塗材、P タイル、タイルカーペット

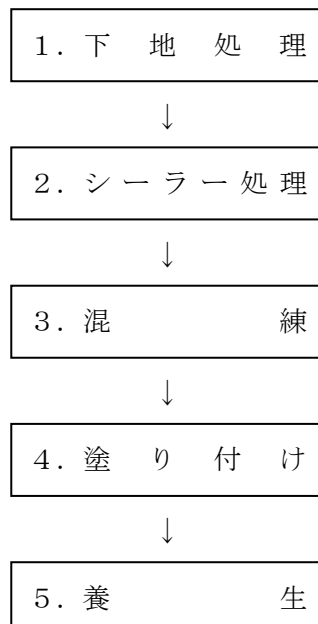
(4) 標準塗厚 0～2mm

〔*JIS A6916-2021 解説には下地調整塗材 C-1 の塗厚は、0.5～1mm 程度と記載されています。〕

2. 使用材料

材料名	荷姿	性状・その他
ハイモルマックス#10	25kg／紙袋	再乳化形粉末樹脂入り プレミックスモルタル

3. 施工順序



4. 施工手順

(1) 下地処理

下地のレイトンス、脆弱層、脂分、汚れ等をワイヤブラシ、サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃を行ってください。

※ パネコート型枠を使用した躯体の場合、必ずワイヤブラシ又はサンダー掛け等を行ってください。

※ 下地が高強度コンクリートの場合は、必ず超高压洗浄（吐出圧力 150MPa 以上）を行ってください。

※ 浮き、剥落の原因となりますので、下地の清掃は入念に行ってください。

(2) シーラー処理（吸水調整材塗布）

塗り付け箇所は下地の乾燥後、吸水調整材として必ずハイモルエマルジョンの 5 倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

※ ドライアウトの原因となりますので、下地への急激な吸水を調整するために希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。

※ 夏場等、吸水が著しく激しい場合には塗布回数を増やしてください。

(3) 混練

	配合	重量比	標準練り上がり量
ハイモルマックス #10	25kg/袋	100	約 20L/袋
清水	約 9.0L	36	

ハイモルマックス#10は、再乳化形粉末樹脂が既調合された、一材型の製品です。

所定量の清水（約 9.0L）を容器に入れ、次にハンドミキサー等で攪拌しながらハイモルマックス#10（1袋）を徐々に加え、十分に練り混ぜてください（約 3 分）。

※ 練り混ぜ後、60 分以内にお使いください。

※ 粉体を追加する練り足し、水を加えての練り戻しは避けてください。

(4) 塗り付け

吸水調整材を塗布した下地表面が乾燥後に、下地に対し鋟圧を十分にかけて厚さ0.5～1mm程度でガリッと擦り込むように塗り付けた後、所定の厚さに塗り付けてください。

※ 1日の塗厚は、標準仕様の塗厚「2mm以下」を厳守してください。

※ 「JASS 15 左官工事」の標準仕様に従って施工してください。

(5) 養生

仕上げ材施工までの養生期間は、9日（冬季14日）以上としてください。

また、通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生をおこなってください。養生期間内に降雨降雪等が考えられる場合には、適切な養生（シート養生等）を行ってください。なお、仕上げ材によっては、下地の含水状況により、膨れ、剥離等不具合が発生する場合がありますので、必要な場合は、含水状態の確認を行い仕上げ材の施工を行ってください。

※ 養生期間の考え方；養生温度の平均が20℃で養生期間が9日必要であれば、養生温度の平均が10℃の場合、同じ硬化状態にするためには、養生期間はおよそ14日必要となります。

<施工上の注意>

○気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。

○施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は、施工を中止してください。やむを得ず施工する場合は、適切な養生（シート養生等）を行い、直接雨や雪がかからないようにしてください。強度不足や白華（エフロ）の原因となります。

○現場にて、砂、セメント等を追加混入することは絶対に行わないでください。

○セメント製品に特有の現象である白華（エフロ）が発生することがありますが、品質には異常ありません。白華（エフロ）が発生した場合には、除去してから次工程の作業を行ってください。

※標準仕様以外での施工による不具合につきましては、
弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

5. 注意事項

<使用上の注意>

- 取扱い時は必ず保護具（保護手袋・保護眼鏡・マスク等）を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

<応急措置>

皮膚に付着した場合	皮膚は多量の水で洗浄してください。汚染された衣類を脱いでください。 皮膚刺激が生じた場合は医師の診断又は手当てを受けてください。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 直ちに医師の診断を受けてください。
飲み込んだ場合	口をすすいでください。無理に吐かせないでください。 気分が悪いときは医師に連絡してください。

<保管上の注意>

- 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、直射日光を避け地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は製造日から4か月以内に使用しきってください。

<運送上の注意>

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

<廃棄上の注意>

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

<漏出時の注意>

- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などで回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

安全上の注意事項の詳細については別途、「安全データシート(SDS)」をご参照ください。

以 上